

どうして農薬を使うのか

5月1日 晴れ

今日は、お母さんと一緒に家から少し離れたところまで散歩に出かけました。そしたら僕の家の近所では見たことない建物があったんだ。ビニールハウスっていうんだって。中にキュウリがあった。

農家のおじさんが僕に
ハウスの中を見せてくれたよ。



立派なキュウリだね。

わぁキュウリだ。

こんなにいいものをつくるのは大変でしょう。虫がついたりすることもあるんでしょう。



そうなんです。農薬はできるだけ使いたくないけど、やはり何回かは使っているんですよ。

用語解説

●出荷規格・・・自治体、出荷団体、卸売市場などが定める青果物の大きさ、色、形等の規格です。



そもそも、どうして農薬を使うんですか？

A!

日本の風土は高温多湿なので、病気や害虫が発生しやすいといえます。作物を栽培していれば、どうしても病気や害虫は発生するんですよ。



- 安定した収穫量を得る
- きずのない見栄えのよいモノをつくる
- 労働力を軽減する

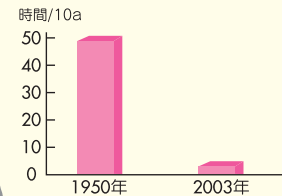
の目的のために農薬を使っています。



キュウリを旬に関係なく、病害虫が発生しやすい時期にも収穫するためには、農薬が必要になる場合があります。また、市場に出荷するものは、「出荷規格」といって、大きさや色、形などが決められています。この規格に合っていないものは、規格外として出荷できないのです。

ワンポイント

●農薬による労働力の軽減
農薬がもっとも貢献したと考えられるのは、除草作業です。



・水稲での除草時間比較
1950年では約50時間/10a
2003年では約2時間/10a
出典：農林水産省「米生産費調査」

いつでも好きな物が食べられるということは、不自然なことなのね。



昔は好きな物を好きな時に食べられなかったんだからね。

